

代表者会議【資料 2 - 2 - 1】

茅ヶ崎市自立支援協議会 報告書

件 名	令和 6 年度 第 3 回 就労・生活支援部会
日 時	令和 6 年 12 月 13 日（金）16:00～17:30
場 所	地域生活支援センター 元町の家
事 務 局	地域生活支援センター 元町の家
部会委員 及び サポート メンバー	<p>■ 高野 宏章 部会長（ちがさきエボシライン）</p> <p>□ 鈴木 悠哉 副部会長（プラーナ湘南）</p> <p>□ 青木 暢彦 委員（茅ヶ崎市障害者施設連絡会）</p> <p>■ 渡部 司 委員（湘南地域就労援助センター）</p> <p>■ 菅 利光 委員（神奈川県立茅ヶ崎支援学校）</p> <p>□ 三浦 紗恵美 委員（神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 肥後 麗子 委員（神奈川県立茅ヶ崎高等学校）</p> <p>■ 和田 由美子 委員（茅ヶ崎市社会福祉協議会障害者生活支援センター）</p> <p>■ 鈴木 健太 委員（茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>■ 佐藤 右輔 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 久保田 祐子 事務局（地域生活支援センター 元町の家）</p> <p>■ 池元 祐輔 氏（オブザーバー／茅ヶ崎市役所障がい福祉課）</p> <p>※ ■出席 □欠席</p>
議 題	<p>1. 「職場体験実習を地域におろす」について</p> <p>2. 「進路に関する普及啓発」について</p>
検 討 内 容	<p>1. 「職場体験実習を地域におろす」について</p> <p>市内事業所に対するアンケート結果について</p> <p>※別添資料「就労・生活支援部会 アンケート（回答）」参照</p> <p>アンケートの目的）市内就労継続支援 B 型事業所と地域活動支援センターに対し、部会活動の普及・啓発と合わせて一般就労に対する意識調査を行うとともに、アンケートを通じて「職場体験実習」への参加に繋げること。</p> <p>【委員による意見・感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（自事業所の利用者が職場体験実習へ参加する事について）思った以上に「参加について積極的」と回答した事業所が多い。地域活動支援センターにも可能性を感じる。反面、（職場体験実習先の）職種に限りがあり、マッチするかが課題。前向き性は感じる。 ・「参加について消極的」な事業所については、間口の広い企業や障がいに対して理解してもらえる企業が見つけられれば参加しやすいのでは。支援学校では、新規開拓の際、企業でどれくらい対応可能なのかをお伺いしている。 ・（職場体験実習は）アセスメントではない。アセスメントを企業にお願いするのは難しい。 ・県立茅ヶ崎高校としては、（職場体験実習へ）積極的に参加したい。 ・コンテンツとしては広げる必要があり、企業側との意識のすり合わせも必要である為、部会を使ってアプローチ出来れば。

代表者会議【資料２－２－１】

【今後の対応・検討事項】

- ・ 企業情報の伝え方をどうするか？以前のもの（求人票）は分かりづらかった。新たな受け入れ先企業を開拓するのか？支援学校の場合、就職出来なければ実習へ行った意味がない、とご家族に判断されてしまう。体験の場なのか、就労に繋げる為なのか、目的を伝える必要がある。因みに支援学校では、年間スケジュールを組んでいる。
- ・ 体験することで何が足りないのかが分かるので、本人の動機づけになる。体験だけではなく、就労に繋げることも視野に入れるのか、そういった情報も伝える必要がある。
- ・ 企業へのアンケートを行うのか？体験の場に加えて、就労に繋げることも目的とすると、アンケートの内容も変わってくる。
- ・ 体験実習先を、今まで受け入れてくれた企業に絞ると（部会としては）早く動ける。
- ・ 前回のアンケートでは、受け入れてくれた企業の感想も聞き取った。新たにアンケートを募る場合は、受け入れてくれた企業の感想もアンケートに載せられると、前向きな反応が得られるのではないかと。
- ・ （企業側が）悩んでいるケースも聴きたい。一概に（受け入れの）可否だけでなく、悩みの声も聴いて、悩みのある企業に対して働きかけることが出来ると良いのでは。
- ・ 企業に対し、再度アンケートを行うこととする。
- ・ 実習生を送り出す側（事業所）へのアプローチはどうするのか？
- ・ （体験実習の流れを）図示（フローチャート）化出来ると良い。ざっくりとしたスケジュールも示せると、年度の中に予定を組み込んで貰いやすいのではないかと。
- ・ ブラッシュアップと継続性が課題点。そこが、地域へおろすにあたって難しい所。支援者が知識を持ち合わせているかで対応が変わってしまう。
- ・ 市内の就労支援事業所の横の繋がりが無いので、集まりを作りたい。その集まりに部会の活動を引き継げるとブラッシュアップに繋がるし、自然とノウハウの伝授にも繋がる。
- ・ 藤沢市には、就労移行支援と就労継続支援 B型の連絡会がある。
- ・ （連絡会には）湘南地域就労援助センターもオブザーバーとして参加している。開催頻度は、年に2～3回。（藤沢市障がい者総合支援）協議会の部会と併せて開催している。学校関係は来ていない。
- ・ （多職種とも連携する意味では）学校に声をかけても良いのでは。
- ・ 市内の事業所を訪問し、連絡会創設の提案や、お仕事フェア等を説明する必要があるのでは。メールで周知しても、事業所内で共有されない可能性あり。送信されたメールに対応した職員が、退職や異動等で居なくなることによって部会の活動が、いつまで経っても周知されていないのでは。
- ・ 今回、せっかく回答してくれた地域活動支援センターを抜いてしまうのはどうなのか？地域活動支援センターは、茅ヶ崎市障害者地域作業所連絡会がある。

代表者会議【資料２－２－１】

	<p>3～4 か月の頻度で開催。茅ヶ崎市障害者地域作業所連絡会に顔を出してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茅ヶ崎市障害者地域作業所連絡会に対し、市はその会議に入ったり、入らなかったりする。 ・ 連絡会があると（部会の活動を）おろしやすくなる。就労関係の連絡会を作って部会の活動をおろせればと考える。 ・ 事業所等への訪問については、部会委員の協力も必要。 <p>2. 「進路に関する普及啓発」について</p> <p>※（別添資料、「ふじさわ障がい者お仕事フェア_チラシ」参照）</p> <p>【委員からの意見・感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （会場について）コミュニティホールだと物販は禁止。出店料が見込めない。部会の活動資金はどうするのか？市役所前の広場であれば物販は可能。本庁舎1階のロビーでも販売可。ただ、分庁舎（コミュニティホール）と本庁舎（ロビー）とで会場が分かれてしまう。 ・ 茅ヶ崎市総合体育館はどうか？そこを借りて、半分はブース、半分は物販のスペースを設ける。 ・ 茅ヶ崎市総合体育館の使用については、改修工事後、体育館の運用が変更になっている可能性もある。費用は確認が必要（障がい福祉課が確認をする。）。 ・ 出店料を募って費用に充ててはどうか？ ・ 出店料がかかると参加しない可能性も考えられる。 ・ ふじさわ障がい者お仕事フェアは、令和7年1月17日11時～18時開催。昨年度は2日間だったが、今年度は1日に縮小。予算的な事情なのか人が集まらないかは定かではなく、理由は不明である。物販とワークショップも開催予定。ブースでは、就労移行支援事業所と就労継続支援B型事業所のみの紹介予定となっている。 ・ 想定される費用は、印刷代と会場代。印刷を事業所にお問い合わせ出来たら良いが、市内には見当たらない。 ・ チラシデータをメールで送って各事業所から周知してもらう方法もある。 ・ チラシをどこに配るのか？何枚用意するのか？要検討。相談事業所にも周知する。 <p>【今後の対応・検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージを共有する為、藤沢市のお仕事フェアへ部会委員のみんなで参加してみる。 ・ 現状は出店料を徴収する方向とし、その他で何か良い案があれば事務局へ伝えることとする。 ・ 開催時期は、来年の秋頃。土日の方が会場（コミュニティホール）の予約が取りやすい。茅ヶ崎市総合体育館になるとスポーツイベントが予定されている可能性がある。早めに予約が取れば使えるのではないかな。 ・ 障害者週間に合わせると周知やすい。12月3日～9日。その間の土日は6日と7
--	---

代表者会議【資料２－２－１】

	<p>日。その期間の平日は、茅ヶ崎市障害者地域作業所連絡会が市役所で販売会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障害者雇用支援月間に合わせてはどうか。9月1日～30日。・ 開催時期は、9月～12月の間で今後も検討とする。 <p>3. その他</p> <p>今回の部会で年度内3回の開催を終える。来年の秋にはイベントの開催を予定している為、来年度のスケジュールはきつくなることが予想される。今年度もう1回、部会を開催する必要がある場合は、事務局と部会委員とで日程を調整とする。</p>
課題・懸案事項	